

各位

会社名 PHCホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO ジョン・マロッタ
 (コード: 6523、東証第一部)
 問合せ先 執行役員 最高戦略責任者(CSO) 平嶋竜一
 (TEL. 03-5408-7280 (代表))

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年10月14日の新規上場時に開示した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	調整後 EBITDA* (百万円)	税引前 利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (百万円)	基本的1 株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想(A)	319,045	20,035	66,025	17,517	13,642	13,511	113.33
今回修正予想(B)	331,770	27,347	71,994	31,786	24,002	23,850	200.05
増減額(B-A)	12,725	7,312	5,969	14,269	10,360	10,339	86.72
増減率(%)	4.0%	36.5%	9.0%	81.5%	75.9%	76.5%	76.5%
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	306,071	17,599	64,053	22,788	16,829	16,906	149.07

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

* 調整後EBITDAは、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスワクチン保存用の超低温フリーザーの売上及び日本における新型コロナウイルス感染症拡大に伴うPCR検査の売上が前回予想比で増加しました。

世界各国では新たな変異株への警戒が続くものの経済活動が急速に回復に向かい、診断・ライフサイエンスでは病院における通常の診察や検査が回復しています。また、米州地域における顧客のライフサイエンス研究への投資活動の活発化が見られ、上期好調であった新型コロナウイルス感染症ワクチン保存用の超低温フリーザーの需要は当下半期も継続するため、診断・ライフサイエンスの売上は下期も伸びることが見込まれます。一方、ヘルスケアソリューションでは日本における新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が9月末で解除された後も新規感染者数は低い状況が続き一般検査は回復傾向にありますが、PCR検査の需要は今後の減少が見込まれます。

以上の状況から、好調であった上期売上の結果に加え、下期も引き続き診断・ライフサイエンスの売上は好調

を維持すると見込むため、通期の売上収益、営業利益、調整後 EBITDA を上方修正しました。

また、当第 2 四半期累計期間における Senseonics 社への転換権付貸付金に対する公正価値評価の好影響を受けて、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益も上方修正しました。

なお、見通しの前提となる為替レートは、1 米ドル=110 円、1 ユーロ=130 円です。

以 上